

要旨

【研究の背景】 現在わが国の学校教育においては、小学校で行われる初経教育に始まり、中学校から高等学校まで継続して性教育が実施されているが、教育現場における時間数の不足などが課題となっており、その内容についてはそれを統一して一般化するような国の取り組みは行われておらず、各自治体での取り組みや学校の取り組みに委ねられている状況である。こうした教育を受けて高等学校を卒業した大学生の性行動や性意識に関する研究や調査が多く行われているが、性行動や月経等に関する知識が十分に得られていない現状があることが示唆されている。現在 10 代にある若者が、将来的にも性の健康を保つために必要な知識の提供や健康教育の在り方について検討していく必要がある。

【研究の目的】 10 代後半の女性を対象とした「性と生殖に関する健康」についての知識や情報の提供による健康教育のためのウェブコンテンツを作成することを目的とする。

【研究の方法】 Web コンテンツ作成の対象は 10 代後半の女性とする。
文献検討の内容をもとに、10 代後半女性に情報提供する内容を検討してパワーポイントのスライドに Web コンテンツ案を作成した。また、産婦人科外来で勤務経験のある看護師に、産婦人科外来受診についてインタビューを行い、その内容を Web コンテンツ案に反映させた。さらに、婦人科外来受診の体験を事例で紹介するにあたり、産婦人科外来に関する事例の作成を依頼し、その内容を含めた。次に Web コンテンツ案をもとに Web コンテンツを作成し、リプロダクティブヘルスの有識者と 10 代後半女性から洗練化のための評価を得た。コンテンツの洗練化にあたり、10 代後半女性 2 名と、高等学校で性教育に関わっている保健体育の教員 1 名、養護教諭 1 名、リプロダクティブヘルスに関する有識者である助産師 2 名、ウェブによる情報提供についての研究者 1 名からコンテンツの内容や構成の評価を得、それをもとに Web コンテンツを修正した。

【結果】 Web コンテンツに関して、リプロダクティブヘルスの有識者と 10 代後半女性から洗練化のための評価を得た。評価結果から導き出された修正内容は大きく分けると「変更」と「追加」の 2 種類に分類され「変更」が 11 カ所、「追加」が 10 カ所であった。「変更」する内容は、「言葉、用語、語尾の訂正」、「文章内容の修正」、「図と文章の整合性」、「表現の工夫」の 4 項目に分類された。「追加」する内容は「項目・ページの追加」、「説明文章の追加」、「図の追加」の 3 項目に分類された。それらの修正点に基づいて Web コンテンツを修正し、Web コンテンツを完成させた。完成した Web コンテンツのタイトルは「10 代後半女性のための性の健康お役立ちサイト」である。Web コンテンツ内のグローバルナビゲーションには、「はじめに」、「女性の性の発達」、「からだの仕組み」、「看護師さんにききました」、「知っておこう」、「10 代後半におこりやすい病気」と題した大項目を示し、その各大項目に含まれる小項目のタイトルについてもグローバルナビゲーションの中にも含めることで、どのページからでも主要な Web コンテンツの項目に移動できるようにした。

【結論】 10 代後半女性を対象とした「性と生殖に関する健康」についての知識や情報の提供を行う Web コンテンツを作成した。